

区全体計画に関する発表

《区全体計画》

にこまちプランは、地区の皆さんが話し合い、作り上げた「地区別計画」と、その取組を応援する「区全体計画」で構成されています。

「区全体計画」は、6つの基本目標別に目指す姿を定めて、具体的な取組を進めています。今年度の特徴的な取組として、「支えあいのまちづくり講演会」「にこまちスタートアップ講座」を行い、地域でのつながりづくりの大切さを広めました。



9月～2月(全5回)
にこまちスタートアップ講座



6/15
支えあいの
まちづくり講演会



《にこまちライフプロジェクト》

西区社会福祉協議会が中心となり、区全体計画にも出てくる「高齢」「児童」「障害」「ボランティア」の4つのテーマに関係する地域や団体と一緒に取り組むテーマ別事業です。このプロジェクトからも多くの取組が進んでいます。



【高齢】
笑顔を届ける「バルーン講座」
…シニア世代の生きがいと地域での役割創出、社会参加のきっかけづくり

【障害】
「来て、みて、知って、つながって」
…地域の方と障害児・者との出会いの場づくり



などなど、様々な取組が進んでいます。

《にこまち助成金》

西区民の方から寄付を基に、にこまちプランの推進につながる地域活動を応援する助成金です。地域の生活課題を解決するための公益的・社会貢献的な事業(まちづくり、サービスづくり、人づくり)が対象です。

- ★今の活動を広めたい
 - ★新しく活動を始めたい
- という方は、ぜひ以下にご相談を。

西区社会福祉協議会(電話:450-5005)

【28年度に助成金を活用した活動事例】



「紅梅気楽カフェ」
…誰もが気軽に立ち寄れる居場所としてオープン

「ホッと一息コーヒータイム」
…シニア世代の男性ボランティアグループです



にこまち通信

にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)に関する情報を広く知っていただくために発行しています。

にこまちフォーラム

開催報告

- 日時 平成29年2月18日(土) 13時～15時30分
- 場所 横浜市西公会堂
- 参加者 229名

講演や各地区の活動発表を通じて、「にこまちプラン」の趣旨を多くの人に伝えることを目的として、毎年開催しています。

第1部：講演会

- 講師 村井 祐一 氏(田園調布学園大学地域福祉学科教授)
- テーマ 「みんなでつくる地域のつながり」

「自らにとって大切な地域と感じるからこそ、地域を守りたい、地域のために何かをしたいと感じるようになる。」

「地域福祉は、地域 みんなが地域を知る機会を持ち、地域の強みや弱みを話し合い、共通の目標、問題解決に向けて取り組むこと。また、そうすることで、かけがえのない地域の仲間との出会いとつながり“絆”が生まれる」といったコメントなど、地域の中での協働、連携の大切さについてご講演いただきました。

地域の皆さんが、自分の地域を好きになり大切に思うことが第一歩で、そこからみんなで地域のことを考え、ともに行動・経験することで、つながりを深めることが大切だと説かれました。

ぜひ、今後の地域活動の際にも、先生のお話を参考にさせていただければと思います。



講演を行う村井氏

●発行元・問合せ先●

横浜市西区役所 福祉保健課

住所：西区中央1-5-10

TEL：045-320-8437 FAX：045-324-3703

webページURL：http://www.city.yokohama.lg.jp/nishi/kuyakusho/hukuho/



にこまちプラン



平成29年3月17日 発行

第2部：地区別活動発表

第1部でご講演いただいた村井先生に、各地区からの発表に対してコメントをいただきました。

《第一地区》

地域全体で行われた「とべ通りキッズハロウィン」や商店街のイベント、中学校・小学校が連携した地域防災拠点訓練などの報告がありました。



また今後は、4つの部会に分かれて取組を進めるという発表がありました。

【村井先生からのコメント】

- ★多くの方に参加してもらおう仕組みができていて、素晴らしい。
- ★部会の取組については、情報の共有と発信が大切。最も効果的な情報発信は“口コミ”です。皆さんの生の声を地域に届けてみてはいかがでしょうか。

《第3地区》

3つの部会で取組を進め、「誰もが集える居場所づくり」を目指す部会で、商店街の協力により、11月に「藤棚わいわい広場」がオープン！その他部会でも、地区情報紙の発行、学校と福祉施設、地域の連携などが行われたと報告がありました。



今後、顔の見える関係づくりを大切に、取組を進めるという発表がありました。

【村井先生からのコメント】

- ★部会制という少数精鋭にすることで、集まりやすさや機動力が発揮できています。
- ★取組を進めるに当たり、いろいろと他事例を見学していることに感心しました。

《第2地区》

「心の通いあった明るく楽しいまちづくり」を具現するため“二言あいさつ”の実践、戸部公園での健康づくり活動などが報告されました。



今後は、歴史ある活動を継続し、充実させるなど、自分たちで住みよいまちを作るという発表がありました。

【村井先生からのコメント】

- ★相手に興味があるメッセージを伝える“二言あいさつ”は素晴らしい取組です。
- ★健康づくりが地域の文化になっており、認知症の予防、外出機会の創出などにつながっている。また皆さんの活動は、地域の見守りにもつながっています。

《第4地区》

地区別計画の各世帯配布や、地域で子どもたちを育てるといった思いをこめ、いちご狩りやキャンプなどの「子ども企画部」の取組、そして夏・冬休みに実施した「みんなの食堂」について報告がありました。



今後も春休みなどの機会に実施していきたいという発表がありました。

【村井先生からのコメント】

- ★地区別計画を各家庭に配布し、できることに〇をしてもらう「見える化」と主体的な「参加」が進められます。参考になりました。
- ★「みんなの食堂」は、担い手にとっても大変意義のある取組です。子どもたちをとっても大事にしていることが伝わりました。

《第五地区》

「子どもの居場所」のテーマのもと、納涼まつりや防災訓練などの催事での子どもの参加促進、また「ふりーサロン5」という居場所の実践について報告されました。

今後も、「にこまち5（地区懇談会）」でPDCAを意識し進めるといった発表がありました。



【村井先生からのコメント】

- ★にこまち5“ファイブ”の名称がカッコいい。
- ★PDCAサイクルがしっかりしていてとても計画性があります。みんなで地区を盛り上げる心が伝わりました。

《第六地区》

地区内で情報共有を図るため、広報部を充実させています。

今年度はメンバーを増やし、地区内専門学校と連携し、納涼祭や健民祭の掲示物、地区を紹介する動画の制作、ホームページ等の情報発信を検討という報告がありました。



今後は、より効果的な発信方法を検討・実践するという発表がありました。

【村井先生からのコメント】

- ★「地域を知る」ことの重要性を再認識しました。
- ★SNS(ソーシャルネットワークサービス)などを活用した情報発信は先進的な取組で、今後に期待が持てます。

パネル展示・物販



地域ケアプラザによる、介護予防、ウォークラリーパネル展示



地域づくり大学校の取組の展示



エヌ・クラブによるパンの販売



更生保護女性会によるあられ、ビスケット等販売